

科研費「連鎖複合型災害現象のメカニズムと人口急減社会での適応策」第3回プロジェクト研究会を開催しました

防災・減災に関する文理連携教育研究プロジェクトである、北海道大学突発災害防災・減災共同プロジェクト拠点では、12月12日に科研費「連鎖複合型災害現象のメカニズムと人口急減社会での適応策」第3回プロジェクト研究会を開催しました。平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震について地震メカニズム、土砂災害について発表を行い、研究成果を共有するとともに、今後の研究の展望・進め方について議論しました。

日時：平成30年12月12日(水)10:00～12:00 参加者：約15名

会場：北海道大学農学部 S12教室



「北海道胆振東部地震について」
理学研究院 谷岡 勇市郎 教授



「2018年9月北海道胆振東部地震による土砂災害
(河道閉塞等)」
農学研究院 小山内 信智 特任教授



「2018年9月北海道胆振東部地震に伴う斜面崩壊に関するいくつかの視点」
農学研究院 古市 剛久 学術研究員

本研究会は、日本学術振興会による科学研究費助成事業(課題番号18H03819「連鎖複合型災害現象のメカニズムと人口急減社会での適応策」)の助成を受けて実施しました。